

中央卸売市場事業会計

1 業務の実績

中央卸売市場事業会計における令和3年度の業務実績は、第1表のとおりである。

水産物については、取扱量が7万740 t、取扱金額が800億8,027万円で、前年度に比べ取扱量は1.0%、取扱金額は7.0%それぞれ増加した。これは、冷凍魚介類及び加工品類の取扱量及び取扱額の増加によるものであり、新型コロナウイルス感染症の影響が続いているものの緩やかに経済活動が回復したことが要因と考えられる。また、単価も上昇したため、1 t当たりの取扱金額は前年度から6万3,888円(6.0%)増加し113万2,027円となった。

一方、青果物については、取扱量が22万6,681 t、取扱金額が507億7,090万円となり、前年度に比べ取扱量は2.2%減少したものの、取扱金額は1.0%増加した。これは、野菜、果実の取扱量が減少した一方で、果実の平均単価上昇により青果物全体の取扱金額は、前年度に比べ増加したものである。また、青果物1 t当たりの取扱金額は22万3,975円と、前年度より7,028円(3.2%)増加している。

水産物・青果物の合計では、取扱量は29万7,421 t、取扱金額は1,308億5,118万円で、前年度と比べ取扱量は減少したものの、取扱金額は増加している。

5年間の推移でみると、水産物については、取扱量、取扱金額及び1 t当たりの取扱金額は令和2年度まで減少が続いていたが、当年度は増加に転じている。青果物については、取扱量及び取扱金額は減少傾向にあるが、1 t当たりの取扱金額は、令和2年度以降増加している。

第1表 取扱量及び取扱金額の推移

(単位 量：t 比率：%)

年 度	水 産 物			青 果 物			合 計	
	取 扱 量	取 扱 金 額 (千 円)	1 t 当 たり 取 扱 金 額 (円)	取 扱 量	取 扱 金 額 (千 円)	1 t 当 たり 取 扱 金 額 (円)	取 扱 量	取 扱 金 額 (千 円)
29	82,420 (100.0)	94,013,290 (100.0)	1,140,658 (100.0)	270,245 (100.0)	58,184,719 (100.0)	215,302 (100.0)	352,666 (100.0)	152,198,010 (100.0)
30	79,476 (96.4)	88,352,592 (94.0)	1,111,685 (97.5)	251,341 (93.0)	54,722,738 (94.1)	217,722 (101.1)	330,817 (93.8)	143,075,331 (94.0)
元	76,606 (92.9)	82,707,003 (88.0)	1,079,637 (94.7)	243,603 (90.1)	50,600,636 (87.0)	207,717 (96.5)	320,209 (90.8)	133,307,639 (87.6)
2	70,052 (85.0)	74,825,419 (79.6)	1,068,139 (93.6)	231,817 (85.8)	50,292,140 (86.4)	216,947 (100.8)	301,869 (85.6)	125,117,559 (82.2)
3	70,740 (85.8)	80,080,275 (85.2)	1,132,027 (99.2)	226,681 (83.9)	50,770,905 (87.3)	223,975 (104.0)	297,421 (84.3)	130,851,180 (86.0)
対前年度 増 減	688	5,254,855	63,888	△ 5,136	478,765	7,028	△ 4,447	5,733,621
増 減 率	1.0	7.0	6.0	△ 2.2	1.0	3.2	△ 1.5	4.6

- (注) 1 本表の金額は、消費税抜きの数値で作成している。
 2 取扱量のt未満と取扱金額の千円未満は、切捨てをしている。
 3 ()内は、平成29年度を基準年度(100)とするすう勢比率である。